



昨年、私たち滋賀県がん患者団体連絡協議会は県と、「2022年度滋賀県がん患者アンケート調査」を行いました。2回目となる今回は989人のがん患者さんが回答くださり、回収率は54.9%でした。この調査はがん患者さんの実態を調べ、がん対策の基礎資料とするものです。質問は患者の視点に立ったもので、次のようなものでした。療養するための情報はどこから得ていますか？

どんな情報が知りたいですか？

セカンドオピニオンや妊孕性(妊娠するための力)温存の説明を受けましたか？

治療前や治療中、体の痛みや心の痛みは医療者が応えてくれましたか？診断や治療、支援の中

か？ 情報提供は十分でしたか？

身体や心に痛み、落ち込みがある時に相談できましたか？ 対応してくれましたか？

安心して自宅で療養するために必要なことは何ですか？

納得した治療を受けていますか？

また、自由記載として、医療機関と行政に対しての意見や、コロナ禍で感じたことをお聞きしました。医療者への感謝の声が多く寄せられた一方で、要望も多く寄せられました。

た治療の選択と納得は難しくその連続は厳しいことです。私は再発患者として、この段階のがん医療、支援がより患者に寄り添ったものになってほしいと思っています。現行3期の県がん対策推進計画の基本理念は「県民一人ひとりが輝けるすこやかな滋賀の実現」。県民が、がんを知り、がんを予防し、がんになっても納得した医療、支援が切れ目なく受けられ、自分らしく暮らせる滋賀を目指して」ですが、果たして実現できたのでしょうか？ 今年はその第4期の策定年度です。皆さんから届いた大切な声を、がん患者の代表としてがん対策に込めたいと思っています。滋賀は75歳未満年齢調

## がん患者の声代表し届ける



菊井津多子

であなたの望みや思いにそった治療を受けられませんか？ 診断や治療方針についてわからなかったことを医師等に質問出来まし



2022年度滋賀県がん患者アンケート調査の結果報告

早期に発見すればがんは治ると言われる現代ですが、その恩恵にあずかれない再発患者さんもおられます。命と人生をかけ

た治療の選択と納得は難しくその連続は厳しいことです。私は再発患者として、この段階のがん医療、支援がより患者に寄り添ったものになってほしいと思っています。現行3期の県がん対策推進計画の基本理念は「県民一人ひとりが輝けるすこやかな滋賀の実現」。県民が、がんを知り、がんを予防し、がんになっても納得した医療、支援が切れ目なく受けられ、自分らしく暮らせる滋賀を目指して」ですが、果たして実現できたのでしょうか？ 今年はその第4期の策定年度です。皆さんから届いた大切な声を、がん患者の代表としてがん対策に込めたいと思っています。滋賀は75歳未満年齢調

整死亡率が全国2番目に少ない(2021年)点で誇れる県なのですが、コロナ禍で、がん治療を自県で完結する必要性を感じました。また、がん患者の在宅の体制が必要という回答もありました。県は医療資源をうまく活用しながら、情報提供を駆使し、「良いがん医療を受けられた」と思えるようながん対策を将来に向けて推し進めてほしいと思います。「アンケート調査結果報告」は図書館に設置しています。県、当会のホームページで公開予定ですので、ご覧いただけたいと思います。(滋賀県がん患者団体連絡協議会会長/乳がん患者会「あけぼの滋賀」代表)